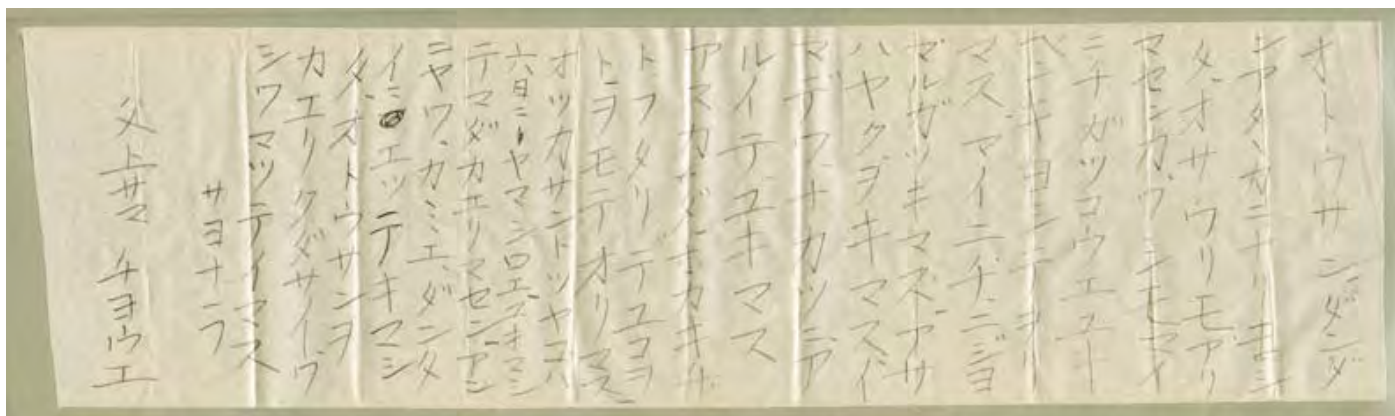


— 収蔵資料紹介 —

子供の手紙

(「酒谷家資料」収蔵番号：500073 より)



オトウサン、ダンダ
 ンアタ、カニナリまし
 タ、オカウリモ、アリ
 マセンカ、ワシモマイ
 ニチガツコウエ、ユキ
 ベンキヨシテヲリ
 マス、マイニチ、ニジヨ
 マルガツキマス、アサ
 ハヤク、ヲキマス、イ
 マデワ、ナカツニ、ア
 ルイテ、ユキマス
 アスカダ、ホカキチ
 ト、フタリデユコヲ
 ト、ヲモテオリマス、
 オツカサントツヤコハ
 六日ニヤマシロエ、ユキマシ
 テマダカエリマセン、アン
 ニヤワ、カミエ、ダンタ
 イニエツテキマシ
 タ、オトウサンヲ
 カエリクダサイ、ワ
 シワマツテイマス
 サヨナラ
 父上サマ
 チヨウエ

【大正2年に次男が6歳の時に書いた手紙】

— オトウサンヲカエリクダサイ —

当館では、古文書を整理して解説するという「古文書調査講座」を2000(平成12)年から開催しています。これまでに主に明治から昭和初期頃の商家文書を中心に、7件約6,500点を整理しました。そして、このうち約2,100点を解説しました。今回はその中から「酒谷家資料」(資料番号500073)に含まれる子供の手紙を紹介します(「酒谷家資料」の詳細については当館研究紀要22号を参照ください)。

子供の手紙は、1908(明治41)年から1914(大正3)年まで15通程が残されています。函館に単身赴任している父親に宛てた3人の子供からのものです。母親の手紙と同じ封筒に入っていることから、母親と一緒に書いている様子が目に浮かびます。小さい頃に書いた手紙はカタカナで鉛筆書き、少し成長するとひらがな、さらに漢字混じりの墨書きになっていきます。妻からの手紙には子供の成績に関する一文も見られ、また次のような一文もあります。

「御出立之節ハ長英余り泣き、私等も胸せまり涙をもようし申候ところ、皆様之帰らぬ内に私ハ家へ帰り申候、長英ハ夫れより家へ帰り弁当をもちて御父さんを向に行くと申居り候」

長英が4歳のころです。

歴史的な有名人でなければ、子供の手紙が紹介されることはほとんどありません。ここで紹介した手紙は一般の人のものです。しかし、日常の私的にやりとりされる、まして親子の手紙は非常に残りにくいものです。15通程ですが、明治末期から大正初期にかけての函館商人の親子関係の一端を知る資料になると思います。(保科 智治)

— 収集・収蔵 —

収蔵資料概数一覧

※平成 27 年 3 月 31 日現在

分類	件数	点数
博物館史	300 件	1,500 点
地質鉱物	20 件	2,000 点
植物	10,100 件	10,400 点
動物	7,900 件	21,700 点
考古	2,800 件	575,900 点
歴史	4,900 件	21,700 点
民俗	6,600 件	32,800 点
民族	6,800 件	8,400 点
美術工芸	3,000 件	4,000 点
合計	42,420 件	678,400 点

※一括は 1 件 1 点と計算しています。

※100 以上は 2 桁の端数を切り下げ表示し、100 未満は 1 桁の端数を切り下げ表示しているため、実際の数値より少なく表示しています。

平成 27 年 新収蔵資料

※平成 27 年 1 月 1 日～12 月 31 日登録分

- 精養軒看板 1 件 1 点
【函館市：杉村 吉彦 氏 寄贈】
- マミジロ 1 件 1 点
【北斗市：佐藤 理夫 氏 寄贈】
- 日米親善野球始球式球 他 11 件 76 点
【函館市：ニチロ会 寄贈】
- 手拭い 1 件 1 点
【函館市：七尾 佳佑 氏 寄贈】
- 箱館通宝 1 件 1 点
【埼玉県：岡本 芳夫 氏 寄贈】

- サイン帳 1 件 1 点
【函館市：藤原 千賀子 氏 寄贈】
- 出征幟 1 件 1 点
【函館市：小間 壽子 氏 寄贈】
- アルバム 3 件 3 点
【北海道新聞函館支社 寄贈】
- 看板 他 2 件 2 点
【函館市：石本 喜美子 氏 寄贈】
- 親子熊 1 件 2 点
【七飯町：林 和子 氏 寄贈】



精養軒看板

資料燻蒸

平成 27 年 9 月 5 日（土）～7 日（月）
（博物館史・自然・歴史・民俗・美術資料）
平成 27 年 11 月 6 日（金）～8 日（日）
（民族資料）

博物館実習生受入

平成 27 年 8 月 28 日（金）～9 月 19 日（土）
大正大学 1 名

— 普及（展覧会） —

特別展



名称	千島樺太交換条約とアイヌ
期間	平成27年7月11日(土)～8月30日(日)
開館日数	51日間で44日
後援・協力	樺太アイヌ協会 他計8機関
出品協力	鶴岡市郷土資料館 他計6機関
出品資料	アトイアの標柱 他計170点
観覧者数	2,364名
関連事業	写真展「写真で迎える千島アイヌの歩み」 講演会「写真で迎える千島アイヌの歩み」 旧函館博物館一号・二号案内
担当	大矢

平成 27 年が千島樺太交換条約締結から 140 年目にあたることから、同条約締結にともなう千島巡航で収集された民族資料や、強制移住させられた樺太・千島アイヌの運命について紹介しました。

展示内容は「千島樺太交換条約と先住民族」「樺太アイヌの強制移住」「千島アイヌの強制移住」の 3 章で構成し、各章には函館との関連に関する小項目を設けるなど、地元の方々がアイヌ文化を身近に感じられるようなものとなりました。

また、開催期間中には公立はこだて未来大学の協力によるプロジェクションマッピングを実施したり、地元紙でコラムを連載したりするなど関連事業を強化し、道外や国外からもご来館いただきました。



開拓使収集三人乗り皮舟へのプロジェクションマッピング

企画展



名称	新収蔵資料展
期間	平成27年9月19日(土) ~ 11月3日(火・祝)
開館日数	46日(間中37日)
後援・協力	市立函館博物館友の会 他 計2機関
出品協力	なし
出品資料	木彫り熊 他 計14点
観覧者数	1,719名
関連事業	展示解説セミナー
担当	大矢

平成27年度展覧会開催状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
日	4/1~6/28			6/30~	7/11~8/30		9/1~9/18	9/19~11/3		11/5~	11/17~3/31			
ロビー	前年度ロビー展			企画展 「時旅ー写真で辿る 千島アイヌの歩み」 担当:大矢		企画展 「新収蔵資料展」 担当:大矢		函館公園史コーナー 担当:奥野・保科		ミニ企画展 「明治のひな人形」 担当:保科				
第1展示室	前年度収蔵資料展			特別展 「千島樺太交換条約と アイヌ」 担当:大矢		博物館史収蔵資料展 「官と民の博物誌ー函館博 物館資料の多様性ー」 担当:佐藤・大矢		博物館史収蔵資料展 「官と民の博物誌ー函館博物館資料の多様性ー」 担当:佐藤・大矢						
第2展示室				自然収蔵資料展 「当館博物学コレクションー 海の生き物と化石編ー」 担当:佐藤		自然収蔵資料展 「当館博物学コレクションー 海の生き物と化石編ー」 担当:佐藤		美術収蔵資料展 「函館ゆかりの人物書画と 女性の美」 担当:奥野		美術収蔵資料展 「函館ゆかりの人物書画と 女性の美」 担当:奥野		自然収蔵資料展 「当館博物学コレクションー海の 生き物と化石編ー」 担当:佐藤		
第3展示室				ミニ企画展 「ひよっこりはこだてやま」 担当:小林		ミニ企画展 「ひよっこりはこだてやま」 担当:小林		ミニ企画展 「ひよっこりはこだてやま」 担当:小林		ミニ企画展 「ひよっこりはこだてやま」 担当:小林		歴史・民俗収蔵資料展 「箱館戦争と函館の歴史」 担当:保科		
				歴史・民俗収蔵資料展 「箱館戦争と函館の歴史」 担当:保科		歴史・民俗収蔵資料展 「箱館戦争と函館の歴史」 担当:保科		歴史・民俗収蔵資料展 「箱館戦争と函館の歴史」 担当:保科		歴史・民俗収蔵資料展 「箱館戦争と函館の歴史」 担当:保科		歴史・民俗収蔵資料展 「箱館戦争と函館の歴史」 担当:保科		

共催・協力事業

※平成27年1月1日~12月31日実施分

- 函館市縄文文化交流センター常設展示 (平成27年4月1日~平成28年3月31日) 本館所蔵「ヤス」他 計99点貸出
- 函館市教育委員会主催「千代台公園野球場1階ロビー展示」(平成27年4月1日~平成28年3月31日) 本館所蔵「大洋倶楽部トロフィー」他 計11点貸出
- 函館市教育委員会主催「函館空港ギャラリー常設展示 函館縄文遺跡探訪ー函館空港遺跡群と北の縄文文化ー」(平成27年4月1日~平成28年3月31日) 本館所蔵「伊藤コレクション」他 計17点貸出

- 函館市北方民族資料館平成27年度収蔵資料展「アイヌ工芸・匠の技ー削る・彫る・刻むー」(平成27年7月25日~11月3日) 本館所蔵「木幣」他 計60点展示協力
- 北前船展実行委員会主催企画展「北前船」(平成27年7月25日~11月3日) 本館所蔵「アイヌ昆布干之図屏風」他 計4点貸出
- 網走市教育委員会モヨロ貝塚館展示複製品製作(平成27年8月10日~11月27日) 本館所蔵「骨偶」貸出
- 公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構他主催平成27年度アイヌ工芸品展「木と生きるーアイヌのくらしと木の造形ー」(平成27年8月29日~平成28年1月24日) 本館所蔵「馬場コレクション」他 計68点貸出

- 函館市主催戦後70年「平和のつどい」(平成27年8月30日) 本館所蔵「千人針」他 計55点貸出
- 北海道博物館他主催特別展「夷酋列像—蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界—」(平成27年9月5日～平成28年5月10日) 本館所蔵「唐美人図」他 計9点貸出
- 特定非営利活動法人道南マウコピリカの会主催第4回「アイヌ文化交流の集い函館 イランカラプテ」(平成27年9月12日) 後援
- 特定非営利活動法人道南マウコピリカの会主催第3回「台湾原住民族との函館交流会」(平成27年10月16日～19日) 後援
- 青森県立郷土館主催平成27年度特別展「環状列石と周堤墓—縄文のモニュメントとその社会—」(平成27年10月21日～12月7日) 本館所蔵「石倉貝塚出土資料」 計39点貸出
- 名古屋大学博物館主催31回企画展「北の縄文人」(平成27年11月10日～平成28年1月23日) 本館所蔵「銚先」他 計33点貸出
- 国立歴史民俗博物館展示複製品製作(平成27年11月20日～平成28年2月29日) 本館所蔵「尖底深鉢形土器」貸出

- 歴史資料(「函館大火関係資料」等) 52件
- 民族資料(「樹皮衣」等) 17件
- 美術資料(「アイヌ風俗絵馬」等) 10件

平成28年度企画展開催予告

※展覧会名称および開催期間はいずれも予定

■企画展「市立函館博物館50年 函博コレクション 未来に残したい珠玉の逸品展」(6～8月)

本企画展は、在野のアマチュア植物研究者、菅原繁蔵の足跡と彼が残した当館収蔵のコレクションを軸に、1966(昭和41)年の当館開館後の50年間で集められた自然と歴史に関わるコレクションも併せて展示・紹介することで、函館の文化発信の場としての博物館を考える機会とします。



在りし日の菅原繁蔵(中央)

資料利用(掲載等)許可

※平成27年1月1日～12月31日申請分

- 自然資料(「魚類標本」等) 1件
- 考古資料(「大型磨製石斧」等) 22件

—普及(講座)—

平成27年度 講座開催実績

【通年講座】

No.	講座名	開催期間	講師	参加/定員
1	古文書調査	4月22日～10月22日 年19回	保科	6 / 6
2	自然観察入門講座 —自然の物知り博士をめざそう—	4月12日～2月28日 年10回	佐藤	26 / 20
3	四季の星空観測講座 —函館・四季の夜空観測—	5月8日～1月29日 年4回	佐藤	20 / 20

計 52 / 46名

【単講座】

No.	講座名	開催期日・時間	講師	参加/定員
1	宇宙と天体シリーズ 「春の星座を見てみよう」	5月22日	佐藤	10 / 15
2	「博物館旧一号館公開」	5月24日	-	270 / -
3	「体験! 日本画教室」	5月30日・31日・6月7日	外部講師	10 / 10
4	「古写真・古地図を歩く①」	6月17日	保科	15 / 15
5	親子で学ぶ 「不思議な石 石灰石」	6月20日	佐藤	12 / 15
6	地域の身近な自然を調べる 「浜辺の漂着物を調べよう」	6月21日	佐藤	12 / 15
7	宇宙と天体シリーズ 「夏の星座を見てみよう」	7月17日	佐藤	15 / 15
8	講演会 「時旅—写真で辿る千島アイヌの歩み」	7月26日	外部講師	30 / 100
9	夏休み自由研究 「鉄道車両の仕組みとJR見学会」	7月29日	外部講師 佐藤	42 / 40
10	わくわく科学教室 「ドライアイスで遊ぼう」	7月30日	佐藤	20 / 20

No.	講座名	開催期日・時間	講師	参加/定員
11	わくわく科学教室 親子で「なき砂を作ろう」	8月1日	外部講師 佐藤	13 / 15
12	夏休み自由研究 「黒曜石で矢じりを作ろう」	8月6日	外部講師 小林	9 / 15
13	「旧函館博物館一号・二号案内」	8月11日 午前・午後各10名	大矢	20 / 20
14	やさしく学ぶ 「樺太アイヌのトンコリ」	8月23日	外部講師 大矢	6 / 15
15	美術鑑賞会 「崎波波響」	9月26日	外部講師	10 / 10
16	わくわく科学教室 親子で学ぶ「手軽な魚の解剖学」	10月10日	佐藤	中止 / 15
17	やさしく学ぶ 「北海道南部のアイヌ語」	10月11日	外部講師 大矢	9 / 15
18	「古写真・古地図を歩く②」	10月15日	保科	14 / 15
19	学芸員こぼれ話 「日魯漁業の樺太先住民研究者」	12月13日	大矢	9 / 15
20	わくわく科学教室 「もしも原子が見えたなら」	1月16日	佐藤	2 / 15

計 528 / 395名

No.	講座名	開催期日・時間	講師	参加/定員
1	展示解説セミナー 特別展「千島樺太交換条約とアイヌ」	7月11日・8月8日	大矢	53 / -
2	展示解説セミナー 企画展「新収蔵資料展」	9月19日	博物館実習生	10 / 30

計 63 / 30名

出前講座等

※平成27年1月1日～12月31日開催

- 自然分野（鳥類に関するもの） 2件
- 考古分野（サイベ沢遺跡に関するもの） 1件
- 民族分野（アイヌ文化に関するもの） 6件

協力機関等

安積徹、谷杉アキラ、JR北海道函館運輸所、富士シリシア(株)、今金町教育委員会、公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構、公立はこだて未来大学（順不同・敬称略）



「情報マッピング」を活用した「古写真・古地図を歩く」

一調査・研究一

調査事業

- 博物館資料調査研究事業（奥野）
- 次年度展覧会調査（佐藤）

研究論文・一般著述等

※平成27年1月1日～12月31日掲載分

- 奥野進2015「第2次世界大戦後の知内の歩み」『新・知内町史Ⅰ』pp. 62-80, 知内町役場;知内町
- 奥野進他2015「協本町政下のまちづくり」『新・知内町史Ⅱ』pp. 18-30, 知内町役場;知内町
- 大矢京右2015「北洋博覧会のアイヌ館」『市立函館博物館研究紀要』25:pp. 28-42, 市立函館博物館;函館市
- 大矢京右2015「国家に翻弄された先住民族の運命～特別展「千島樺太交換条約とアイヌ」に寄せて」, 2015年7月5日付北海道新聞(朝刊)
- 大矢京右2015「函館博物館旧蔵民族資料ラベル考」

『千島樺太交換条約とアイヌ』pp. 38-46, 市立函館博物館;函館市

資料調査・取材対応

※平成27年1月1日～12月31日申請分

- 自然資料（「イトマキエイ」等） 1件
- 考古資料（「狩猟文土器」等） 17件
- 歴史資料（「銀板写真」等） 4件
- 民俗資料（「精養軒看板」等） 1件
- 民族資料（「蝦夷錦打敷」等） 4件
- 美術資料（「堤コレクション」等） 3件

印刷物発行

※平成27年1月1日～12月31日発行分

- 市立函館博物館2015『市立函館博物館研究紀要』25
※平成27年3月31日発行 42頁
- 市立函館博物館2015『千島樺太交換条約とアイヌ』
※平成27年7月11日発行 59頁

一博物館短信一

地元紙で博物館情報を発信

函館新聞紙上で、本館学芸員と館外協力者が、展覧会のテーマに合わせて毎週金曜日にコラムを連載しました。

春の収蔵資料展では「学芸員活動日誌」（5/1-7/3）、夏の特別展では「視点！論点！千島樺太交換条約とアイヌ」（7/10-8/28）、秋の新収蔵資料展では「私のイチオシ！函館のお宝」（9/18-10/23）を連載し、コラムをご覧になった市民から資料に関する新情報が寄せられることもありました。

新ホームページ始動

5月15日、博物館の新ホームページ (<http://hakohaku.com>) を公開開始しました。

これまでのホームページではできなかった、デジタルアーカイブ事業の成果なども盛り込み、館報SARANIPと研究紀要のデジタル版も全号公開しています。なお、新ホームページの構築については公立はこだて未来大学奥野准教授研究室に、刊行物のデジタル化については北海道函館五稜郭支援学校にご協力いただきました。

情報マッピング

函館の古写真や古地図、絵図面などから得られる情報を総合的にリンクさせて、函館の街並みに関する一大データベースの構築をめざすワークショップを行いました。

データベース化の過程で新たな事実も判明するなど現在着々と情報の蓄積を行っており、ある程度構築が進んだ時点でオープンデータ化することも検討しています。

サイベ沢遺跡発掘フィルム見つかる

1949(昭和24)年、本館は北海道大学の協力のもと桔梗町サイベ沢遺跡の発掘調査を行い、多数の貴重な土器や石器などを収集しました。この時に撮影された35mmフィルムが館内整理の際に発見され、NHKの協力により、このたびデジタル化に成功しました。

サイベ沢遺跡発掘は戦後北海道初の層位的発掘調査であり、戦後間もない時期の映像記録としても貴重であることから、今後の映像解析による研究の進展が期待されます。

すすむデジタルアーカイブ事業

当館では資料情報の積極的な公開や有効活用のため、平成26年度から資料のデジタルアーカイブ化を進めています。本年度は植物標本や刀鐔を接写し、資料情報とともに整備することでデータを蓄積しているところです。

これらのデータは、今後博物館HPの「はこはくコレクション」で順次公開するとともに、来年度の企画展でも活用する予定です。

アルセニエフ博物館長来函

本館と姉妹館提携を締結しているアルセニエフ博物館(ロシア・ウラジオストク市)のヴィクトル＝シャライ館長が一般財団法人北海道北方博物館交流協会の招きで来道し、5月24日に本館を訪問したほか、翌25日に山本真也教育長を表敬訪問しました。

シャライ館長と山本教育長は、函館・ウラジオストク両市の交流や博物館同士の協力関係などについて意見を交換しました。



山本教育長と握手を交わすシャライ館長

平成 27 年度職員構成等

館長

斉藤 総一

博物館協議会

(委員 11 名)

管理担当

埜畑 亘 (主査)

尾崎 渉 (主査)

小林美智子

三浦真人

木村 凖 (臨時)

学芸担当

佐藤理夫 (主査、自然・博物館史)

奥野 進 (主査、美術・歴史)

小林 貢 (考古)

保科智治 (歴史・民俗)

大矢京右 (民族・民俗)

山本泰子 (嘱託)

図書館郷土資料担当

霜村紀子 (主査)

長谷川佳代子

佐藤珠江 (嘱託)

福本衣栄 (嘱託)

坂本恭子 (嘱託)

奥山真央 (嘱託)

SARANIP—サラニップ—No. 55

編集・発行 市立函館博物館

〒040-0044

北海道函館市青柳町17 番 1 号

TEL:0138-23-5480 FAX:0138-23-0831

E-mail:hakohaku@city.hakodate.hokkaido.jp

— 誌名 SARANIP (サラニップ) —

アイヌ語：樹皮を編んで作った袋

博物館情報や研究成果などを SARANIP に入れておき、その蓄積が今後重要な資料となっていくようにと命名したものです。